

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
災害看護論	NSP43_001	必修	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
伊丹 幸子	304	s.itami	月曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	"地域や人々の生活を脅かす災害とその原因及び健康生活への影響、災害サイクルについて学ぶ。災害の発生から復興までの医療・看護の活動現場に応じた被災者の生活ニーズに応じた看護活動とその特徴を理解し、災害看護の知識と技術を修得する。また、災害医療・看護の特徴と看護者に求められる役割を学び、被災者への生活支援・看護職に求められるコーディネータとしての役割を理解する。"				
授業形式・方法	☒ 講義 ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☒ ディスカッション・デバート ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 実習 ☐ 実技 ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業(自主学習) ☐ その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中およびリアクションペーパー、オフィスアワーにて受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めてほしい。				
教科書	新体系 看護学全書 統合分野 看護の統合と実践 災害看護学/編:小井土雄一、石井美恵子 第3版/メヂカルフレンド社/2020				
参考書	・演習で学ぶ災害看護/日本赤十字/南山堂 ・災害看護学・国際看護学/編:日本赤十字社事業局看護部/医学書院/2019				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	災害の種類や災害サイクル、地域防災計画、支援体制が理解できる。			NS(1)	
②	災害時の医療救護活動のフェーズと各期の看護について理解できる。			NS(1),(2)	
③	災害発生前における減災・防災のための看護活動について理解できる。			NS(1),(3),(5)	
④	災害時における要配慮者・要支援者の健康問題とその対応法について理解できる。			NS(1),(2),(3),(4),(5)	
⑤	発災後の被災者の「生きる」を支えるために必要となる実践的な知識と技術を習得することができる。			NS(1),(2),(4),(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	災害発生の現状と今日の課題について 災害サイクル、地域防災計画、支援体制		講義 演習	自身が住む場所のハザードマップを 入手し熟読する (ワークシート 1)	1
2	災害時の医療救護活動のフェーズと CSCATTT		講義 演習	医療救護活動フェーズをまとめる (ワークシート 2)	1
3	災害時の医療と看護、トリアージ、多職種との連携		講義 演習	教科書 P184～196 を読み、災害時の こころのストレスについて、復習す る。(ワークシート 3)	1
4	災害看護活動の場における身体的、精神的健康管理、 HUG		講義 演習	教科書 P154～178 を読み、災害時、 要配慮者への救護について復習す る。(ワークシート 4)	1
5	災害時の看護実践①情報伝達の技術 ②災害時のコミュニケーション技術		講義 演習	教科書 P208～221 を読み、災害時に 起こる身体侵襲についてまとめる。 (ワークシート 5)	1
6	災害時の看護実践③五感を用いた観察の基本 ① 災害時の身体ケア		講義 グループワーク 演習	教科書 P81～86 を読み、避難所にお ける看護について復習する。(ワーク シート 6)	1
7	演習 トリアージ (都留市立病院DMA T)		演習 グループワーク	災害看護論で学習した避難所、パブ リックヘルスについて授業資料と教 科書等で再度確認する。	1
8	演習 HUG、災害看護活動の場の理解			HUG の知識と技術について再度確 認する。	1
試	定期試験 (筆記試験・ポートフォリオ提出)				

総合評価割合 (%)		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	20	10	100
	思考・推論・創造する力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	10	20
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験とする。看護師国家試験を同じレベルの試験とする。			メールで解答の解説を送付する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	ワークシートをまとめ、ポートフォリオにできる。記録物等適切な収集・整理ができる。			11回講義で説明する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	日々の受講態度等を総合的に評価する。			問題が生じた場合は、個別に面接を行う。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	35年の県および市町村の行政保健師経験があり、災害時の計画の作成及び対応や数回の県外災害派遣を経験している。						
実践的授業の内容	保健所・市町村における行政保健師活動、災害援助活動および訪問看護活動等の実務経験を元にして、内容を構築し、災害看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習および演習を行う。						
そ の 他	・ 毎回講義に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。・ 学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 ・ 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・ Teams を使った同双方向型授業も実施する可能性があるため、通信容量無制限の Wifi 環境を推奨する。 ・ 今後の社会情勢により、再度シラバス内容が変更となる可能性がある。						